

# 平成25年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

平成25年5月10日

発行：岩手県水産技術センター  
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## 県中北部～中南部で付着稚貝数が増加傾向

### < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は5.6℃と低めです。水深5～20mで5～6℃台、20m以深は7℃台となっています。透明度は12m（前回10m）でした。
- ラーバの出現数は、県北部で少なく低調ですが、県中北部から南部にかけて前回調査時よりも増えた地点が多くなっています。特に県中北部では、200μm以上の個体の割合が高めとなっています。
- 試験採苗器の付着稚貝数は29～105個/袋（前回4～12個/袋）でした。県中北部、唐丹湾とも前回より増加しています。県中北部では2～3割が400μm以上の大型個体でした。一方、唐丹湾は6割が付着直後の稚貝でした。
- 調査地点によりムラサキイガイ、キヌマトイガイの出現数が多い状況となっています。唐丹湾のラーバ出現数はそれぞれ146個/m<sup>3</sup>、268個/m<sup>3</sup>でした。
- 採苗器の投入開始時期はもう少し先と思われますが、投入できるよう準備を進めてください。今後の調査結果に十分注意し、採苗器を早めに投入する場合は、多めに準備し複数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。

### < 陸奥湾の状況（5月9日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >

- 全湾で付着が順調に進んでおり、付着数は288～5,256個/袋となっています。今後、付着数はさらに増加する見込みです。

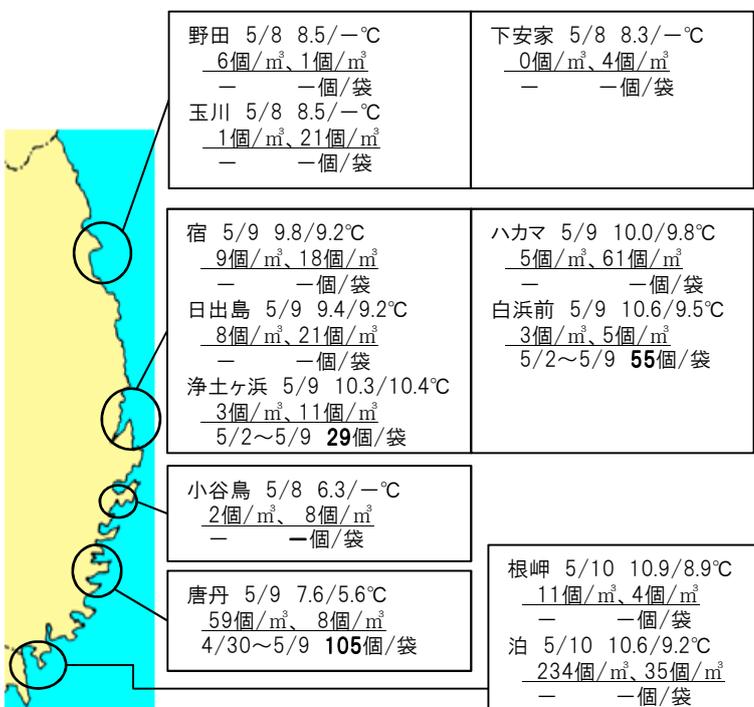


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温  
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

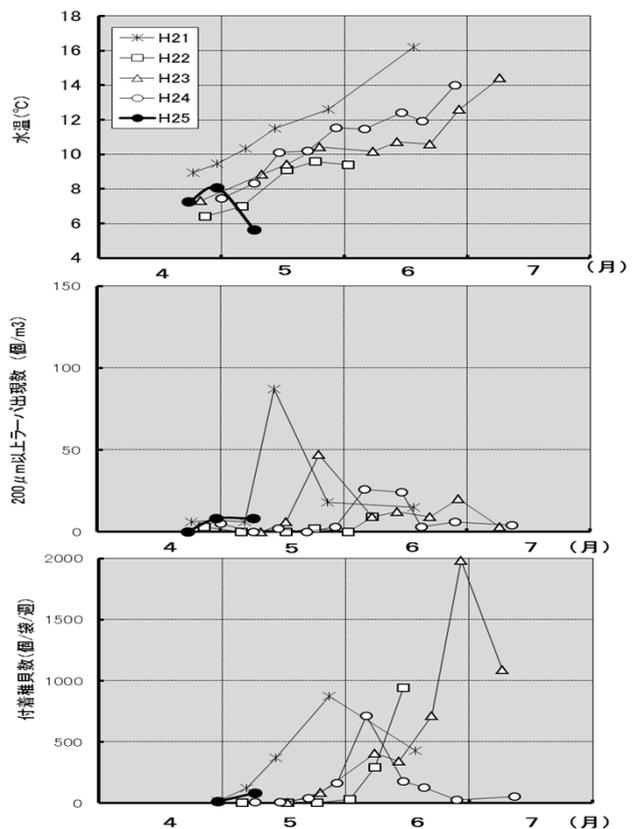


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、5月15日に発行する予定です。